

「売れる高岡産大豆」を生産しましょう！

令和7年産

大豆栽培こよみ

高岡市農業協同組合
富山県高岡農林振興センター

生育ステージ	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
	排水対策・土づくり	播種適期 発芽期	草丈・節数増加期	開花期	莢伸長期 子実肥大期	成熟期 収穫期	
作業名チェック	□排水対策 □石灰質資材散布 □種子消毒 □播種		□1回目培土 □2回目培土 □畦間かん水	□1回目防除 □2回目防除		□収穫 □秋起し	

主な作業

額縁排水溝 心土破碎



まず早めに排水対策

石灰質資材散布



播種作業は慌てず、確実に！

種子消毒



一連の作業は1日で実施！

耕起碎土 施肥 播種



2回目 本葉4~5葉 播種後30~35日

除草剤散布



1回目 本葉2~3葉 播種後20~25日

1回目培土



株元までしっかりと土をかける

2回目培土



晴天が3日以上続いたら入水 (開花期~9月上旬頃まで)

1回目防除

うね間かん水で落莢を防止！

2回目防除

難防除雑草類は確実に除去

収穫準備

大きな雑草や青立ち株を除去
タネ類・イヌホオズキ類等の除去

収穫

収穫適期内での収穫完了

次年度対策

緑肥作物による地力づくり
心土破碎・額縁排水溝の設置

品種ごとに莢の色や子実水分を確認し、適期に収穫しましょう！

収穫開始の目安	莢の色	子実水分
	株全体の9割以上が褐色 緑色の莢が無い	エンレイ 22%から シュウレイ 20%から

土づくり

- ◎ 大豆は中性に近い土壌を好むので、pHは6.0~6.5を目標に必ず石灰質資材を施用しましょう。
- ◎ 地力の低下と加里を補うため、発酵鶏ふんを施用しましょう。

【土づくり・基肥量の目安(10a当たり)】

資材名	単作	麦跡
苦土石灰	100~200 kg	
発酵鶏ふん	100~150 kg	
BB084 (10-18-24)	砂質~壤質土	20kg 35kg
	粘質土	15kg 30kg

※麦跡大豆は、麦稈の腐熟を促進させるため、基肥のチッソ成分を1.5~2kg増量してください。

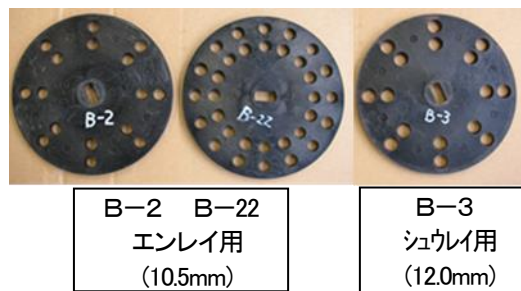
種子消毒 (病害虫防除の徹底)

- ◎ 茎疫病などの苗立枯性病害やフタスジヒメハムシを防除するためクルーザーMAXXで種子消毒を行いましょう。

使用薬剤	処理方法
クルーザーMAXX	乾燥種子1kg当たり原液8ml塗抹

播種作業

- ◎ 播種深度は3cm程度に調整
- ◎ 目皿とスプロケットの組合せを確認
- ◎ 品種に応じた目皿を使用



大豆乾燥施設 南条 TEL:31-4321

営農相談先 JA高岡営農センター TEL:63-7331
高岡農林振興センター TEL:26-8477

「エンレイ」において、播種機の調整等を行っても目標とする播種量が投下されない場合は目皿B-22を使用しましょう

エンレイ播種量の目安 条間80cm

【目皿B-22の場合】

播種時期	播種量 (kg/10a)	栽植本数 (本/m ²)	スプロケット	
			目皿側	車輪側
6月上旬	5.5~6.3	14~16	14	9~10
6月中旬	6.3~7.1	16~18	13	10

【目皿B-2の場合】

播種時期	播種量 (kg/10a)	栽植本数 (本/m ²)	スプロケット	
			目皿側	車輪側
6月上旬	5.5~6.3	14~16	10~11	13
6月中旬	6.3~7.1	16~18	9~10	14

*大粒種子の百粒重35.6g、苗立率90%の場合

シュウレイ播種量の目安 条間80cm 目皿B-3の場合

播種時期	播種量 (kg/10a)	栽植本数 (本/m ²)	スプロケット	
			目皿側	車輪側
6月上旬	5.3~6.6	12~15	10~11 11	11 13
6月中旬	6.6~7.9	15~18	10 9	13~14 14

*大粒種子の百粒重39.4g、苗立率90%の場合

除草剤散布

イヌホオズキ類にはプロールプラス、ラクサー、エコトップが効果的です。帰化アサガオ類にはサターンバロが効果的です。

薬剤名	10a当りの散布量	使用方法	散布時期
サターンバロ粒剤	4~6 kg	全面土壌散布	播種後発芽前 (雑草発生前)
トレファノサイド粒剤2.5	4~6 kg		播種後出芽前 (雑草発生前)
ラクサー粒剤	4~6 kg		
エコトップP乳剤	500ml 水1000で希釈	全面土壌散布	播種後出芽前 (雑草発生前)
プロールプラス乳剤 (*黄色着色注意!)	500ml 水1000で希釈		大豆2葉期~開花期まで 収穫45日前まで
大豆バサグラン液剤	100~150ml 水1000で希釈	雑草茎葉散布	雑草生育初期~6葉期 収穫45日前まで
	300~500ml 水1000で希釈	畦間雑草 茎葉散布	収穫45日前まで
ポルトフロアブル	200~300ml 水1000で希釈	雑草茎葉散布	イネ科雑草3~10葉期 収穫30日前まで
バスタ液剤	300~500ml 水100~1500で希釈	畦間処理	雑草生育期 (株間処理は大豆5葉期以降) 収穫28日前まで
	200~300ml 水1000で希釈	株間処理	出芽直前~大豆3葉期まで (雑草発生始期~2葉期)

*播種後の降雨で除草剤散布前に出芽した場合はパワーガイザーを使用しましょう。

病害虫防除

2回目の基本防除は1回目の14日後頃に確実に防除しましょう

	薬剤名	管理機体系	無人航空機体系	防除時期	対象病害虫
1回目	スミチオン乳剤	1000倍 (100L/10a)	8倍 (0.8L/10a)	8月6~15日頃 (開花後2~4週間頃)	カメムシ類など
	ブランドム乳剤25	3000倍 (100L/10a)	16~24倍 (0.8L/10a)		
2回目	アミスタートレボンSE	1000倍 (100L/10a)	8倍 (0.8L/10a)	8月20~29日頃	紫斑病+カメムシ類